

## 軽井沢の自然が好きですか？

**好きなら大切にしましょう。**



メガソーラー工事前。



伐採された左と同じ場所。

### ★木を切ってまで行う メガソーラーは本末転倒

3万坪の敷地を使った南軽井沢のメガソーラーは多くの町民の反対がありながら、軽井沢町が認め工事が進んでいます。敷地の全域に近い面積の木々が伐採されました。環境調査も行わず、経済活用のみを考えた町の姿勢に疑問の声があがっています。

### ★再生可能エネルギーは 15%しか使われていない

2014年8月末で原発70基を超える7237万KW分の発電設備が認定を受けています（経済産業省資源エネルギー庁発表）。しかし、送電線や天候の問題のため利用されているのは15%のみ。新しく太陽光発電施設を増やしても、送電線の整備や蓄電の研究が進まない限り利用されない状況です。

### ★別荘地に太陽光発電施設は いない（屋根以外）

軽井沢の太陽光発電施設の「設置基準」は広さの上限が決められていないため、条件さえ合えば広くても認められてしまいます。別荘地でも特定道路から見えなければよいというのでは、ほとんどの別荘地で可能となります。樹木伐採の禁止や環境アセスを義務付けていないので、環境破壊につながることも否定できません。



## COLUMN

## 『木々の間から星や浅間山を眺めて走る』

広瀬 稔（軽井沢町長倉）



昭和62年の元日から1日も休まず走り続け、昨年5月に連続1万日を超えました。始発の新幹線で東京に通勤していますので、毎朝2時に起床し3時から1時間程度ランニングしています。休日にはスローペースで長い時間をかけ自然を満喫しながら走りますが、これが最高の贅沢です。早春、走り始めは満天の星空に圧倒されます。流れ星がまだ暗い空にスーッと消え

ていきます。そのうちにどこからともなく鳥のさえずりが聞こえてきます。動物達に出会うこともしばしばです。キツネやリスを見かけると気分がなごみますが、猿やイノシシの気配を感じると迷わずUターンです。星も浅間山も“木々の間から眺める”のが軽井沢でしか味わえない特権だと思っています。ところがそのシンボルとも言うべき「木々」が無残に切り倒されている光景をしばしば目にします。ここ数年で“木々の間から眺めるコース”がいくつ消えてしまったことか…残念であり悲しいことです。

こうした軽井沢の貴重な財産を安易に捨て去る動きに、何とか歯止めをかけたいと切実に感じています。移住者、別荘族、地元民、そして何よりも行政がこうした現状にしっかり目を向け、この町の将来を真剣に考えて欲しいと願っています。